

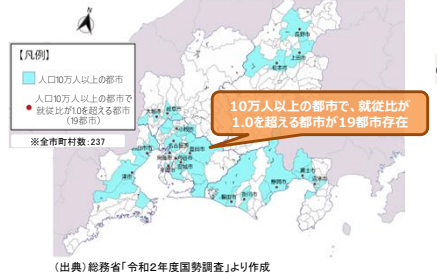
現状 課題

- 変化にとんだ地勢と豊かな自然環境
- 現代に息づく歴史、多様性に富んだ文化

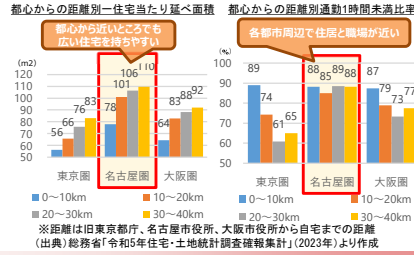


(出典) 写真A0を基に中部地方整備局作成

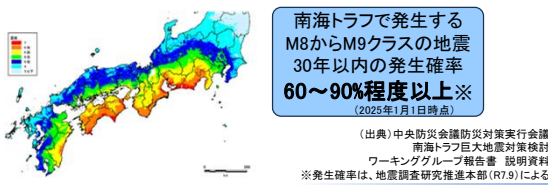
○多極分散型の地域構造



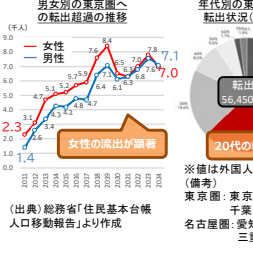
○ゆとりある生活環境



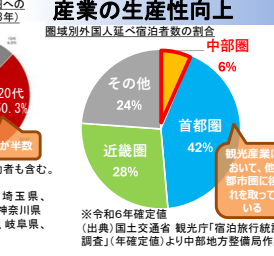
●南海トラフ地震の切迫



●若者・女性の圏外転出



●訪日外国人対応や観光産業の生産性向上

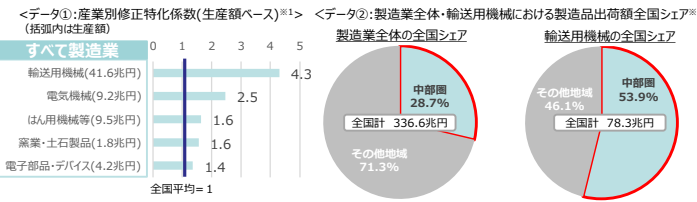


○リニア中間駅を始めとした新たな広域圏形成



産業等の強みの客観的な把握

- 中部圏は、産業別修正特化係数(生産額ベース)(データ①)をみると、「輸送用機械」等の製造業に強みを有しており、ものづくり拠点として経済の発展に寄与。
- 例えば、輸送用機械の製品出荷額は、全国シェアの半分を中部圏が占めており(データ②)、2050年カーボンニュートラル実現に向け、水素・アンモニアへのエネルギー転換ポテンシャルがある。



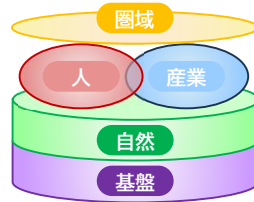
将来像 目標

中部圏で暮らす人々のWell-beingを向上するためのビジョン  
【目指す中部圏の将来像】 生活の質が高く持続的に成長する強靭な中部圏

将来像を実現するための5つの観点

- 人々の暮らし
- 経済を支える産業
- 日本中央回廊の形成による国際競争力の強化
- 多様な自然資源を生かした国土管理
- 災害への備えや適切なインフラ管理

- 【目標1】すべての地域が魅力あふれる生活圏の創出
- 【目標2】ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化
- 【目標3】日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり
- 【目標4】自然の恵みの保全と活用
- 【目標5】強靭な圏土の構築



広域連携プロジェクト

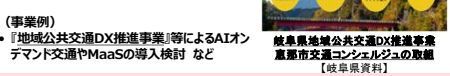
1. 暮らしやすさ地域力向上  
地域生活圏形成プロジェクト

- 地域の個性をいかしたまちづくりや地域経済強化、関係人口の拡大を推進
- 農林水産業の活性化や地域生活圏の形成による地域力の向上



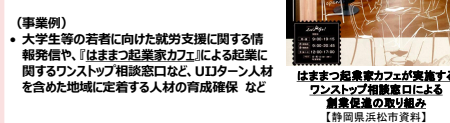
2. 快適・安全安心な生活環境実感プロジェクト

- 移動や仕事等の暮らしの様々な場面における効率性や利便性、安全性、地域のかかわりやすさ等の向上
- 誰もが快適で安全・安心な生活を実感できる生活環境の構築



3. ひとつづくり・つながり構築プロジェクト

- 若者世代や女性、外国人など誰もが輝き活躍する社会、多様な人材を育てる社会の形成
- 地域の担い手の活動の場の確保やコミュニティの再生、官民連携による多様な主体の参画促進



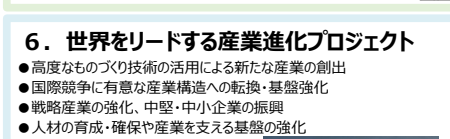
4. 圏土強靭化プロジェクト

- 産学官民の各機関が連携した防災・減災のハード対策
- 広域のかつ実践的な地震・津波防災訓練等のソフト対策
- 事前防災から復旧・復興までの時間軸を考慮した対策
- ネットワークの多重性及び代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化



5. 環境・国土サステナビリティプロジェクト

- ネイチャーポジティブの推進やカーボンニュートラル実現の取組推進
- 人口減少下の適正な国土利用・管理等、国土基盤の高質化



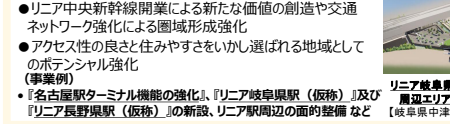
6. 世界をリードする産業進化プロジェクト

- 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出
- 国際競争に有意な産業構造への転換・基盤強化
- 戦略産業の強化、中堅・中小企業の振興
- 人材の育成・確保や産業を支える基盤の強化



7. 日本中央回廊まんなか圏域拡大プロジェクト

- リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造や交通ネットワーク強化による圏域形成強化
- アクセシビリティの良さと住みやすさをいかに選ばれる地域としてのポテンシャル強化

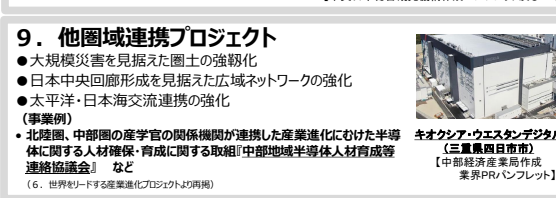


2050年の中部圏(将来像)イメージ



8. 新時代の観光交流促進プロジェクト

- MICE機能の拡充・強化や国際的なスタートアップ・エコシステムの構築
- マルチモーダル周遊観光ルートの形成
- 国際的な広域観光交流



※本資料は、中部圏広域地方計画協議会及び中部圏広域地方計画有識者会議における議論等を踏まえ、2026年(令和8年)5月時点での検討状況を整理したものです。